

若鮎だより

第41号

2018
January

ご自由にお持ち帰りください。

◆主な内容

- 新年のあいさつ 2
- トピックス&新任者紹介 4
- 診療科紹介 6
- 職場紹介 7
- 県民健康講座 8
- 各部署便り 10



宮崎県立延岡高等学校インターンシップ

宮崎県立延岡高等学校1年生の119名が平成29年12月8日、14日と2日に分けて病院見学に来ました。院長、副院長、看護部長や先輩医師からの講話の後、各部署を見学し、地域医療の現状や病院における多職種の仕事内容等に関して理解を深めました。

宮崎県立延岡病院

〒882-0835 延岡市新小路2丁目1-10

TEL 0982-32-6181

FAX 0982-32-6759

ホームページ <http://nobeoka-kenbyo.jp>

宮崎県立延岡病院

理念

患者さん本位の良質で安全な医療の提供

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、理解と納得に基づく安全で信頼される医療を行い、患者さんの立場に立った医療の提供に努めます。
2. 高度で先進的な医療に取り組み、地域の中核病院として質の高い医療の提供に努めます。
3. 二次・三次救急医療に取り組み、公立病院として地域住民が安心できる医療の確保に努めます。
4. 地域の医療機関との連携と地域社会に密着した保健医療活動を進め、開かれた病院として地域の保健・医療の向上に努めます。
5. 医療従事者として常に知識・技術を高め、質の高い医療の提供に努めます。

患者憲章

県立延岡病院は、病院の理念に則り、医療の中心は患者さんのためであることを深く認識し、一人一人の患者さんに次のような権利と責務があることを宣言します。

1. 良質な医療を平等に受ける権利

社会的地位、人種、信条等を問わず、安全に配慮した良質な医療を平等に受ける権利があります。

2. 知る権利

病気、検査、治療、予後等について、理解しやすい言葉などで納得できるまで、十分な説明を受ける権利があります。

3. 自己決定権

医療を受ける際、十分な説明を受けた上で受けるかどうかを自分で決定する権利があります。

4. 尊厳性への権利

どのような時でも人格を尊重され、尊厳をもって医療を受けることができます。

5. プライバシー保護の権利

病院関係者が知り得た全ての個人情報について、保護を受ける権利があります。

6. 責務

- (1) 以上の権利を守るため、医師及び医療従事者と力を合わせて医療に参加・協力する責任があります。
- (2) 院内の秩序と快適な療養環境を守るため、院内の諸規則を遵守する責任があります。



年頭のご挨拶

院長 柳 邊 安 秀



2018年の年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

2017年の「今年の漢字」は「北」でした。「北」朝鮮のミサイル・核問題、九州「北」部の豪雨災害、プロ野球「北」海道日本ハムファイターズ関連（大谷翔平選手の大リーグ挑戦、早稲田実業清宮幸太郎選手の入団）などから「北」に決定となったようです。本県でも今春の選抜高校野球は県「北」の2校（富島高校、延岡学園）が昨秋の九州大会ベスト4に勝ち残り、大会出場が期待されます。勝ち進んで県民の期待に応えて、明るい話題を提供して欲しいと願っています。

さて、今年には診療報酬改定の年です。まだ詳細は発表されていませんが、全体としてはマイナス改定となることが予想されています。様々な施設基準・加算要件の厳格化、2019年の消費税10%への増税など、今後病院経営をめぐる環境は一段と厳しさを増していきます。地域医療における当院の役割の明確化（急性期医療への特化）と地域医療連携の深化、医療と介護の連携などがキーワードになりそうです。

当院では、2017年は幸いに医師の増加や地域の医療機関からの紹介件数の増加に伴う患者数の増加（ベッド稼働率の上昇）などもあり大幅な収支向上が期待されています。経営改善と設備投資・医療機器更新を同時に進め、さらなる医療レベルの向上に努めたいと思っています。

一方で、医療スタッフの過重労働問題など、国の働き方改革の議論と医師の適正配置などを踏まえ、改善すべき課題もありますが、問題点も多く、地域医療への影響を最小限にする必要もあることから、病院単独では一朝一夕に解決できないものとなっています。今後とも宮崎・熊本の両大学、各関係機関、行政などと連携して、医師を始めとする医療スタッフの確保に努めたいと思います。

4年前、私が院長に就任して、職員に3つの「愛」をお願いしました。地域への「愛」、病院への「愛」、患者さんへの「愛」です。最後の愛が最も大事なものは議論の余地がありません。患者さんに共感し、その対応には職員一同注意を払っていますが、「そんなつもりじゃなかったのに」ということも時にあります。その際にご指導よろしく願います。患者さんとともに歩む県立延岡病院を目指してまいりますので、当院への温かいご支援・ご鞭撻を今後ともよろしく願います。

最後になりましたが、今年が皆さんにとって良い年でありますようにお祈りしています。



初春のご挨拶



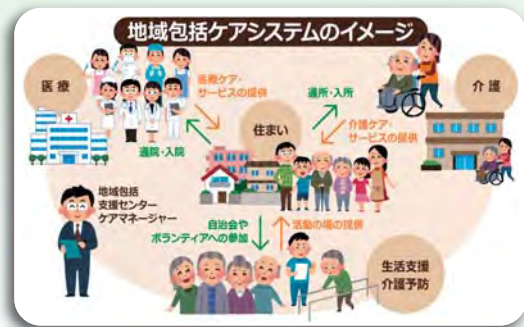
看護部長 小 城 一 代

皆様に初春のお慶びを申し上げます。

2017年を振り返りますと、政治・経済の不安定さや諸外国でのテロや紛争など、平和な時代が遠のく恐怖を感じながら、慌ただしく過ぎて行ったように思われます。

その中で、医療を取り巻く環境も急速に変化し、地域包括ケアの取り組みが進められています。患者さん・ご家族を中心として、医療・福祉・行政が連携・協力し支え合い、安心して住みやすい地域づくりが始まっています。

看護部では、今年度入職した新人看護師達も夜勤を経験し、チームの一員として頑張っています。看護師不足の中で、夜勤回数や残業の増加など、苦勞をかけていますが、後輩の育成にも勞を惜しまず尽力してくれています。看護部理念に沿って、入院時から、一人ひとりの患者さん・ご家族に寄り添い、その方の望む場所での生活が実現できるよう支援に努めています。



いよいよ今年は、診療報酬・介護報酬の同時改定がおこなわれます。病院経営には厳しい内容であることが危惧されていて、当院においても新たな改革が必要となるかもしれません。どのような状況でも、地域に愛される病院であり続けるためには、地域住民の方々の声に耳を傾け、専門職としての真摯な姿勢が求められると思います。

私事ではありますが、今年度で定年退職となります。私は延岡が大好きでした。10年前の赴任時には、新米看護師長として患者さんと一緒に泣いたり、笑ったり、時にはお小言をいただいたり、未熟な私を多くの方が今日まで支えてくださいました。皆様に改めて感謝とお礼を申し上げます。命の現場で多くの方と出会い、別れを経験し、成長させていただきました。看護は素晴らしい仕事であると思います。今、疲れ切ってうつむいている仲間達が1日も早く元気を取り戻せるよう、残り数ヶ月ですが全力を尽くしたいと思います。

最後に2018年が皆様にとって幸多き、良き一年となりますようお祈りいたします。

トピックス①

「みらいちゃんを救う会」より 寄付をいただきました

■各診療科外来のテレビ及び

4階東病棟のプレイルームの備品、壁の整備等を実施しました

平成25年5月にカナダでの心臓移植手術に成功した大林未来ちゃんのために、募金活動をおこなっていた「みらいちゃんを救う会」より、募金の余剰分から宮崎県に3,000万円（県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院に各1,000万円）の寄付がありました。

その寄付金を活用して、各診療科外来のテレビ及び4階東病棟のプレイルームの備品、壁の整備等をおこないました。

また、上記施設・備品の整備に加え、医療器械（LUCAS 2 自動心臓マッサージシステム等）も購入し、医療設備等の充実に活用させていただきました。

■各診療科外来

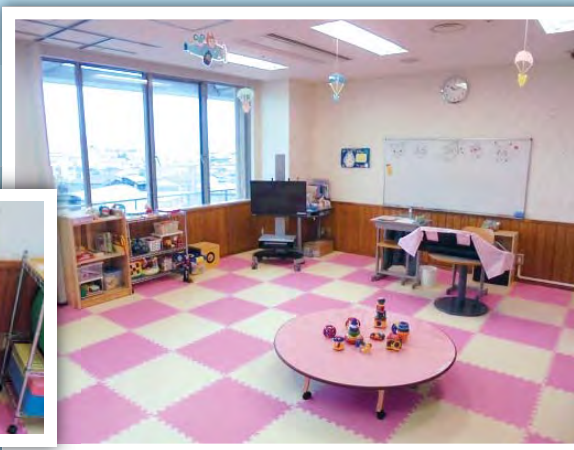
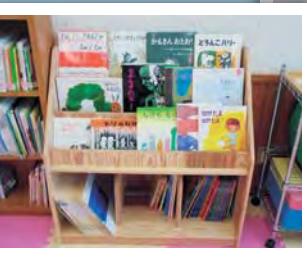
以前の20型程度のブラウン管テレビから50型液晶テレビにすることでテレビが見やすくなり、外来の待ち時間などの案内表示も可能となりました。

また、小児科外来においては、診察に来られたお子さん達のためにアニメの放映ができるようになりました。



■4階東病棟プレイルーム

4階東病棟に入院しているお子さん達が快適な環境で過ごせるように壁紙の貼り替えやマットの入れ換え、絵本、おもちゃ、テレビの整備などを行いました。



トピックス②

ボランティア感謝状贈呈をおこないました

当院では、当院利用者によりきめ細やかなサービスを提供し、療養生活の充実を図るためのボランティア活動を広く受け入れています。その活動のひとつに、1階外来総合受付で患者さんの案内・介助等の手伝いをさせていただく外来受付ボランティアがあります。

舟谷暉子さんは、平成13年2月から平成29年11月までの長年にわたり、毎週火曜日に外来受付ボランティアとして当院で活動してくださいました。温和で丁寧な話し方で、来院された患者さんに安心を提供していただき、当院の患者サービスの向上に貢献してくださいました。このたび、その活動を終了されることから、最終日となる平成29年11月28日に感謝状を贈呈いたしました。また、感謝状贈呈に引き続き、日頃からお世話になっているボランティアスタッフの皆さんとの座談会を開催しました。院長、看護部長、外来看護師長、事務局長、事務次長より感謝の意を表するとともに、ボランティア活動状況等に関する意見交換をおこないました。



今後も院内サービスのさらなる充実を図るために、引き続きボランティアスタッフの皆さんのご協力をいただくとともに、新たにボランティアとしてご協力いただける方々を広く募集していますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

新任者紹介

産婦人科・周産期科 副医長

むら 村
おか 岡
じゅん 純
すけ 輔

(平成30年1月～)

宮崎県北地域の産婦人科医療に貢献できるよう努力してまいります。

皮膚科 医師

にし 川
かわ 陽太郎

(平成29年10月～)

まだまだ若輩者ではありますが、地域の皆さまのお力になれるよう尽力いたします。よろしくお願ひします。

耳鼻咽喉科 医師

が 何
なお 尚
き 樹

(平成29年10月～)

10月より赴任して参りました。宮崎県北地域の医療に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

診療科紹介

✂️...✂️ 内科(消化器内科) ...✂️...✂️



当科は消化器内科医2名で診療をおこない、主に他の医療機関や院内の他診療科より消化器疾患の精密検査が必要な患者さんを紹介いただいています。

消化器がんやポリープを含む腫瘍性病変（内視鏡治療、化学療法）、消化器症状を伴う感染症、救急搬送された消化管出血（吐血、下血）および急性腹症（腹痛）等、多岐にわたる消化器疾患の診療をおこなっています。担当する主な検査は上

下部消化管内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）で、CTやMRI、腹部エコー等、複数の検査結果を検討し、当院消化器外科と協議する場を設け、集学的な医療を提供するよう努めています。

また、今年度より肝臓内科専門医が不在となっているため、専門的治療を要する肝疾患の患者さんは原則、他の医療機関へ紹介する方針としています。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしく願います。

✂️...✂️ 麻 酔 科 ...✂️...✂️



当科には現在医師が3名常勤しています。それに宮崎大学より、毎日医師を派遣していただき、実質4名体制で日々の麻酔をおこなっています。

我々が目指しているのは、患者さんを中心にした質の高い周術期管理をおこなうことです。麻酔科医による術前術後回診をおこない、術前には患者さんに絶飲食と麻酔方法を十分に説明し、良好な人間関係を持った上で、同意を得て、麻酔をおこなっています。術後には患者さんを回診し、実

際の麻酔による影響のチェックをしています。この術前術後回診を通じて得た患者さんの情報を日常の麻酔業務に反映させています。

また、依頼があれば、栄養管理のための中心静脈ライン挿入や、疼痛管理のための硬膜外鎮痛ラインの挿入もおこなっています。

今後も質の高い医療を提供できるよう心がけてまいりますので、どうぞよろしく願います。

職場紹介

5階東病棟



看護師補助員4名、クラーク2名、ヘルパー2名がオールスタッフです。

これからも質の高い安心・安全な医療を提供していけるよう、全員で頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

当院は宮崎県北地域で唯一の血液疾患治療の拠点病院であり、多くの血液疾患の患者さんが入院しています。

ほとんどの患者さんが化学療法を繰り返し受けています。疾患そのもの、また治療による副作用から抵抗力が落ちてしまうため、感染予防には特に気を付けています。つらい治療に耐え、1日も早い退院を目指している患者さんやそのご家族に、少しでも明るい希望を持っていただけるよう、スタッフ一丸となり奮闘している毎日です。

医師1名、薬剤師1名、看護師24名、

放射線科・X線室



す。

皆さんと接するのは僅かな時間ですが、安心して検査・治療を受けることができるよう、日々知識や技術の習得に励んでいます。放射線に関して気になることがありましたら、お気軽にスタッフへお声かけください。

放射線科・X線室は現在医師1名、診療放射線技師15名、看護師8名、クラーク6名で検査・治療をおこなっています。検査や治療の内容は主に一般撮影・CT検査・MRI検査・血管造影検査・核医学検査・放射線治療です。

放射線は目に見えないものであり、怖いイメージを持たれている方も多いかもかもしれませんが、医療では欠かせないものとなっています。質の高い画像を提供し、各診療科と連携を取りながらスムーズな診療ができるように心掛けていま

県民健康講座1



最新のアレルギー疾患治療

副院長(業務)兼内科部長 やま ぐち てつ ろう
兼感染管理科部長 山 口 哲 朗

〈県立延岡病院講堂 2017. 8.16〉

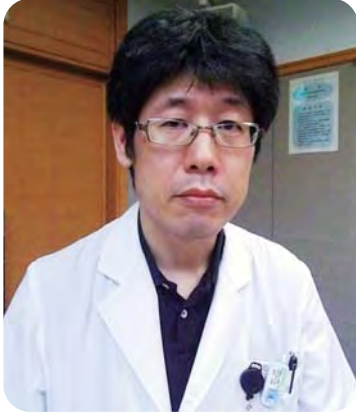
国民の約2人に1人がアレルギー疾患に罹患していると言われ、その患者数は増加傾向にあり、国民が適切な医療を受けられる体制づくりが急務となっています。

免疫とは体内に侵入する細菌やウイルスなどの病原体、ダニや花粉などを自己と異なるものと厳密に識別し、排除し、生体を保全することを言いますが、免疫反応が過剰に反応し、体に不都合な症状が出る場合を一般的にアレルギーと呼んでいます。

免疫反応を起こす物質を抗原といい、アレルギーをおこすダニや花粉などの抗原をアレルゲンと呼んでいます。アレルゲンが体の中に侵入すると、抗原提示細胞によりヘルパーT細胞とB細胞に情報が伝わり、B細胞が形質細胞に分化してIgE抗体を産生します。IgE抗体は組織に存在する好塩基球やマスト細胞に結合し、そこにアレルゲンがつくと脱顆粒がおき、ヒスタミンやロイコトリエンなどの化学物質が産生され、気管支、鼻粘膜、皮膚などに、血管拡張、気管支平滑筋の収縮、粘膜の浮腫、発赤を生じます。このような反応が鼻でおこればアレルギー性鼻炎であり、気管支でおこれば気管支喘息です。アナフィラキシーショックは全身におこるアレルギーですが、急激な症状の悪化により死に至ることがあり、職場や学校などで問題となっています。その症状改善のためアドレナリン自己注射があり、緊急時に使用できるかどうかが生死をわけることがあります。家庭や学校などで、家族や教師などがその使用法について習熟しておく必要があります。アレルギー疾患の治療にはまず抗原回避(ダニ、スギ、食物など)が必要です。薬物療法には抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、副腎皮質ホルモン、免疫抑制薬などの局所治療(吸入、点鼻、点眼、塗布)が中心となります。特に重症の喘息患者には抗IgE抗体などの治療も選択肢としてありますが、必ずしも有効でない場合があります。最近、アレルゲン免疫療法が広くおこなわれるようになってきました。これは少量のアレルゲン投与(舌下または皮下)によりアレルギーを徐々に抑制していく治療と考えられていて、アレルギー疾患の根本的な治療となりうる可能性があります。実際、この治療により長期にわたって症状の改善や投与薬剤の軽減が可能となっています。

アレルギー疾患対策は薬物療法だけでは困難であり、受動喫煙防止を含めた環境改善への取り組みが必要となります。

県民健康講座2



下肢静脈瘤をご存知ですか？ ～最新のレーザー治療について～

心臓血管外科医長 にい な かつ ひこ 新 名 克 彦

〈県立延岡病院講堂 2017.10.18〉

下肢静脈瘤は、紀元前約1500年の古代エジプトにはすでにパピルスに記載があり、紀元前400年のギリシアでは静脈瘤のレリーフが出土されています。その頻度も、日本人の場合は10人に1人、患者総数は1000万人以上となり、出産経験のある成人女性の2人に1人が発症します。下肢静脈瘤になりやすい方とは、両親とも下肢静脈瘤の場合には将来的にはその子供も90%発症するといわれています。女性も、妊娠時にホルモン影響や下腹部圧迫により発症しやすくなります。また、立ち仕事、特に1ヶ所に立って、あまり動かない仕事（調理師・美容師・販売員・看護師・教師など）の方も発症しやすくなります。老化、運動不足や肥満にも注意が必要です。

下肢静脈瘤は足の血管の病気です。静脈瘤は血管（表在静脈）がコブ（瘤）のようにふくらんだ状態のことをいいます。これは、静脈特有の弁が壊れ、血液が重力に逆らえず、心臓に帰れずに逆流するために起こります。良性の病気であり、命の危険はありません。ただ、足のだるさや、むくみ、こむら返り、膝の痛みなどの症状が起こるためQOL（生活の質）を低下させます。下肢静脈瘤は見た目で見分けられ、伏在型・側枝型・網目状・クモの巣状の4種類に分けられます。手術が必要になるのは伏在型静脈瘤だけです。うっ滞性皮膚炎がおこっている、前記の症状があつてつらい、あるいはご本人が外見を気にする場合に手術をおこないます。

下肢静脈瘤の治療には保存的治療、硬化療法、手術、血管内治療の4つがあります。それぞれの治療には長所と欠点があります。そのため、静脈瘤のタイプや患者さんの状態によって適切な治療を選択する必要があります。

下肢静脈瘤の手術には、血管をしぼる高位結紮術と、血管を引き抜く抜去術（ストリッピング手術）があります。高位結紮術は足のつけ根で表在静脈をしぼって、血液の逆流を食い止める手術です。抜去術は、足のつけ根と膝の内側の2ヶ所を切って、静脈の中に細いワイヤーを入れて固定し、ワイヤーごと静脈を抜き去る方法です。いずれも手術後「痛み」や「感染」などが問題になっていました。血管内治療は、カテーテルを静脈の中に入れて、カテーテルの先からレーザーや高周波（ラジオ波）を出して静脈を焼いてふさいでしまいます。焼いた静脈は肉なので固く縮んでしまい、逆流を阻止できません。現在ではレーザーおよび高周波治療ともに保険適用になっています。日帰りの手術であれば、3割負担で約45,000円程度の負担になります。当院ではレーザー治療をおこない、術後の痛み等もなく、良好な結果をえています。

下肢静脈瘤は、決して珍しい病気ではありません。手術で比較的容易に治療ができます（現在、宮崎県北地域ではレーザー治療は当院でしかできません）。お困りの方は、かかりつけ医に相談し、紹介していただき、適切な治療をおこないきましょう。

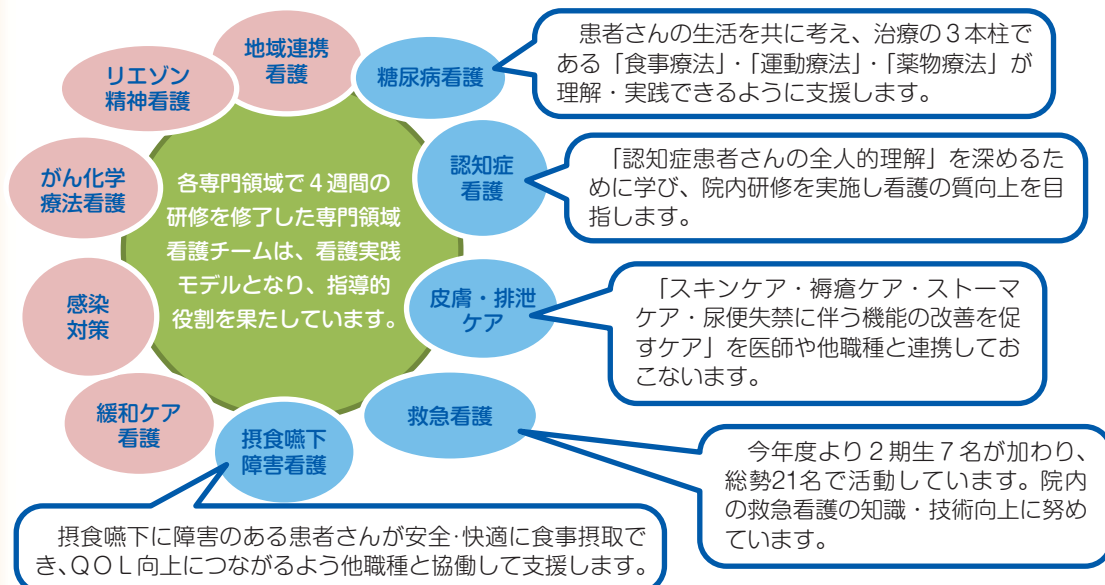
専門領域看護チームの紹介

看護部便り



当院理念や看護部の方針に基づき、看護専門職として「命に寄り添い生活を支える看護職員」の育成に努めています。そのために、専門性の高い看護を提供する看護師育成を目的とした「専門領域10コース」を設けています。

今回、専門領域5コースの紹介をいたします。(ピンク色の5コースは前号で紹介済みです)



看護研究の取り組み ~入職3年目看護師の教育支援について~

看護師としての職務を遂行するために、入職時から3年間を通して、院内外での「基礎研修」が実施されています。今回は、入職3年目の看護師を対象とした〈看護研究研修〉を紹介いたします。

- 3月**：各部署の看護上の課題を見出し、看護研究に取り組む1年間のスケジュールについて説明を受ける。
- 4~5月**：院内研修や部署の支援を受け、取り組みたい〈看護上の課題〉を考え、テーマの絞り込みと研究方法について学ぶ。
- 6月**：看護研究の悩みや問題解決方法について、同期とのグループワークや個別指導を受ける。
- 7~9月**：データの分析方法や文献検索、論文のまとめ方など、指導者と共に研究を進める。
- 10月**：主体的な看護研究発表会の開催（看護研究集録づくり、座長・マイク係の体験、活発な質疑応答）。
- 11~2月**：宮崎県看護研究学会に演題を提出する。発表時のスライドやポスター作成をおこなう。
- 3月**：宮崎県看護研究学会での発表（又は参加）を体験する。



「安全で患者さん中心の看護」同期と考えるグループワーク



発表会



平成29年は17名が看護研究に取り組みました

感染管理科便り

みなさんこんにちは。寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？インフルエンザワクチンの供給不足が問題となっていましたが、今回は、供給不足となった原因と当院感染管理科がおこなっている他施設との相互ラウンドについてお話しします。

1. インフルエンザワクチン

今年度のインフルエンザワクチンは、A型2株+B型2株の4価ワクチンです。
詳細は… A/シンガポール/GP1908/2015(IVR-180)(H1N1)pdm09



A/香港/4801/2014(X-263)(H3N2)

B/プーケット/3073/2013(山形系統)

B/テキサス/2/2013(ビクトリア系統)の4株が選定されました。この中のA/香港株は、もともとA/埼玉株が選定されていました。ただA/埼玉株は、製造途中に大幅な収量低下が明らかとなり、最終的には昨年と同様のA/香港株が選定されました。これによりワクチン株の選定が、例年に比べ遅れ各メーカーの製造も遅れました。今冬のインフルエンザワクチンの製造量は約2,528万本（前年比256万本減）となる見通しです。これは昨シーズンの使用量（2,642万本）を下回ります。厚生労働省は自治体に「13歳以上の方は、1回接種が原則」と、2回接種を控えるよう通知をおこなっています。（参考：国立感染症研究所HP）



2. 高千穂町国民健康保険病院との連携

当院ICT(感染対策チーム)は、平成27年から年に1回、高千穂町国民健康保険病院と相互訪問をおこなっています。訪問の目的は、お互いの施設を視察することで感染対策が適切におこなわれているか確認・評価することです。この相互訪問では、感染対策の取り組みや問題点なども話し合います。他者評価を受けることで、自分達で気付くことができなかつた問題点を明らかにすることができます。他施設の取り組みで参考にしたい部分は、自施設の対策に取り入れています。例えば、高千穂町国民健康保険病院では、アルコール消毒を携帯用ポシェットに入れて看護師は勤務しています。これは患者さんのケアを行う前に、すぐ手を消毒するためです。この視察で、スタッフの手指衛生への取り組みに刺激を受け、当院でも取り入れることにしました。今回の視察では、黒木病院・岡村病院・千代田病院・延岡市医師会病院のICTの方々にも参加していただきました。それぞれの病院での感染対策の改善に繋がればと思います。こうして地域の病院と連携し、相互訪問をおこなうことで自施設の感染対策の改善をおこない、県北地域全体の感染対策の向上に繋がればと思います。



文責：感染管理科
認定看護師 中武和利

薬の「飲み合わせ」・「食べ合わせ」について 薬剤部便り

今回は薬の「飲み合わせ」・「食べ合わせ」についてご紹介します。

薬と食品には飲み合わせ・食べ合わせが悪いものがあり、そのリスクを知らずに服用してしまうと、逆に健康を害する場合があります。その中でも代表的なものを以下にご紹介します。

①納豆 ⇔ 抗凝固薬（ワルファリン）

ワルファリンは肝臓で、ビタミンK依存性の血液凝固因子を阻害することにより、血を固まりにくくする働きを持っています。ところが、納豆には、ビタミンKや、大腸でビタミンKを産生する納豆菌が多く含まれているため、ワルファリンの作用を弱めてしまいます。このため、ワルファリンを飲んでいる方は、納豆の摂取を控える必要があります。また、同様にクロレラ・青汁もビタミンKを多く含むため、摂取を控える必要があります。



②グレープフルーツ

⇔ 降圧薬（Ca拮抗薬）、高脂血症用剤（アトルバスタチンなど）、免疫抑制薬（シクロスポリンなど）

グレープフルーツに含まれる成分が、肝臓での薬物代謝を阻害するため、薬の血中濃度が上昇し、薬の作用が強くなったり、副作用が起こりやすくなったりします。また、夏みかん・スウィーティー・文旦・いよかん・八朔なども同様です。ただし、同じ柑橘系でも温州みかん・オレンジ・レモンではそのような相互作用は起こらないと言われています。



③牛乳 ⇔ テトラサイクリン系・ニューキノロン系抗菌薬



牛乳に含まれるカルシウムと薬の成分が結合してしまい、薬の吸収や作用を低下させてしまいます。そのため、薬の服用後、2時間程度は牛乳の摂取を避けることが望ましいとされています。

④セントジョーンズワート（セイヨウオトギリソウ）

⇔ 精神神経薬（選択的セロトニン再取り込み阻害剤〈SSRI〉）、免疫抑制薬（シクロスポリンなど）

セントジョーンズワートはハーブの一種で、その抽出物にはモノアミン（特にセロトニン）再取り込み抑制による抗うつ作用があるため、SSRIとの併用により作用・副作用が増強されます。一方、セントジョーンズワートは、肝臓での薬物代謝酵素を誘導するため、シクロスポリン等の一部の薬と併用すると、薬の血中濃度が低下し、結果として作用を弱めてしまうことがあります。



⑤アルコール ⇔ ベンゾジアゼピン系睡眠薬（トリアゾラムなど）、狭心症治療薬（硝酸イソソルビドなど）

アルコールは多くの薬剤と吸収・代謝などの段階で影響し、血中濃度を大きく変動させることから薬剤との併用は避けるべきです。睡眠薬とアルコールを併用すると、中枢神経抑制作用と薬による作用により、眠気や呼吸抑制などが起こることがあります。また、狭心症治療薬との併用では、アルコールによる血管拡張作用により、血圧降下作用が増強されます。

以上に挙げた食品や薬以外にも相互作用を起こすことがありますので、不安なときは医師や薬剤師にご相談ください。

「2025年問題」を ご存知ですか？

医療連携科便り

およそ1世紀も増え続けてきた日本の総人口が、2010年を境についに減り始めました。2025年の日本は、団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、人類が経験したことのない「超・超高齢社会」を迎えます。これが2025年問題です。

近年、病院や医師数は減少傾向にあります。一方、医療資源の減少傾向に加えて、医療を必要とする高齢者が劇的に増えていく状況が起きるのです。

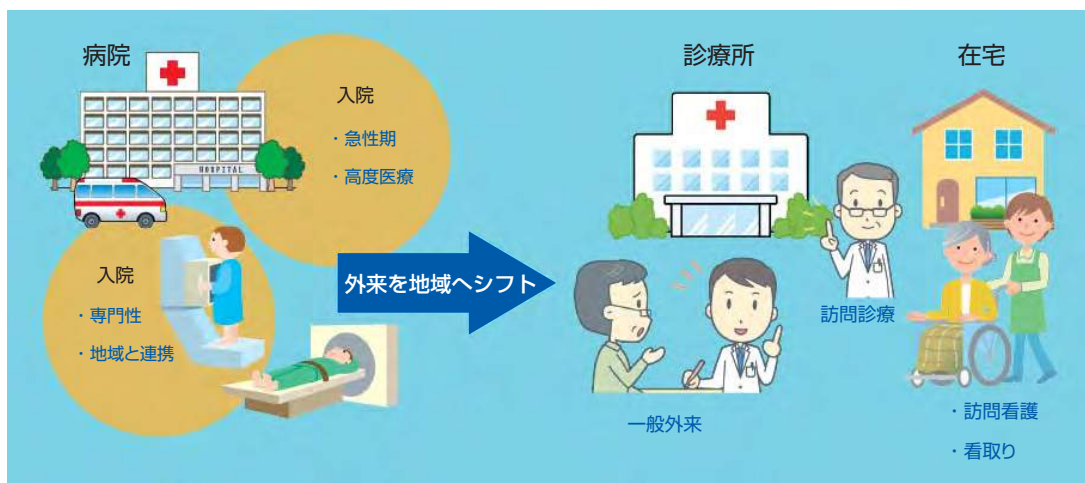


そこで、病院完結型医療から 地域完結型医療へ

地域完結型医療とは患者さんの住み慣れた地域や自宅での生活のための医療、地域全体で治し支える医療のことです。医療と介護、さらには住まいや自立した生活の支援までもが、切れ目なくつながらる医療が必要となってきます。



当院では、入院時より患者さんの退院後の生活を考え、患者さん・ご家族の希望の聞き取りをし、主治医・病棟看護師・院内の多職種で退院支援をおこなっています。また、安心して自宅へ帰れるよう医療と介護の連携を図っています。



知っていますか？主食の栄養価

主食とは米飯、パン、めん類などのことで、身体を動かす力の源になります。今回は主食のエネルギーやたんぱく質などの栄養価についてまとめてみました。

主 食	エネルギー	たんぱく質	炭水化物	食塩相当量
ご飯 (茶碗 1 杯200 g) ※コンビニおにぎり 2 個分 	336kcal	5.0g	74.2g	0g
お粥 (茶碗 1 杯200 g) 	142kcal	2.2g	31.4g	0g
食パン (6枚切り 1 枚60 g) 	158kcal	5.6g	28g	0.8g
うどん：茹で (1 玉250 g) 	263kcal	6.5g	54g	0.8g
スパゲティ：乾 (1 束100 g) ※茹でた場合は250 g 	379kcal	12.2g	73.5g	0g

〈参考：食品成分表2015版（七訂）〉

主食の摂り過ぎは肥満につながったり、逆に減らし過ぎると低栄養につながることもあります。主食の適量は体格や年齢によって各個人で異なります。そこで、主食の適量と普段食べている量について振り返ってみませんか？当院では医師の指示のもと管理栄養士が主食の適量などの栄養食事指導をおこなっています。予約制ですので、希望の方はスタッフにお尋ねください。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

毎年、新年号の編集後記は干支にちなんだお話をさせていただいています。今年は戌年です。「戌」という字には草木が枯れるという意味の「滅(めつ)」の意味があるそうです。しかし、縁起の悪い意味ではありません。秋になれば草木は枯れてしましますが、春になれば芽を出し、花を咲かせます。つまり、季節の変化を受け入れ休眠し、次の年(亥)に命の種と力を委ねるといふことであり、新しい命を育む縁起の良いものなのです。

病院が枯れることはありませんが、当院の理念を達成するためにはじっと力を蓄えることも必要と思います。

本年もよろしく願いいたします。

〈編集長 脳神経外科部長 戸高健臣〉



宮崎県立延岡病院 外来診療・病棟案内

● 外来診療については、かかりつけ医の紹介状と病院・診療所からの事前予約が必要です。平成30年1月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	特殊診察等	
内科	呼吸器	(新患)	熊部	味志	山口	藤田	西山	(水)(金)午後……………気管支鏡検査 (木)……………禁煙外来 (火)(水)(木)……………消化管内視鏡 (火)(木)……………腹腔透析外来
		(再診)	山口	藤田	—	山口	熊部	
	血液	外山	外山	外山	外山	外山		
	消化器	橋本	—	—	—	坂元		
	腎臓	—	手術	戸井田	—	戸井田		
呼吸器科	午前	能勢	能勢	能勢	能勢	能勢	(月)(金)……………手術 (月)(木)……………休診日あり(要事前確認)	
	午後	手術	能勢	能勢	能勢	手術	(水)午後……………気管支鏡検査	
外消化器科		甲斐田	土居	手術	土居	石躍	(火)(木)……………特殊検査 (月)(水)(金)……………手術 第1(月)午後……………ストーマ外来	
					上村			
心臓血管センター	心臓血管外科	手術	手術	早瀬	手術	早瀬	(火)~(金)……………心臓力テール (月)(水)午後……………ペースメーカー外来	
	循環器内科	(新患)	黒木	早瀬	山本	早瀬		
		(再診)	山本	新名	福嶋	安藤		
整形外科		公文	栗原	手術	栗原	手術	(月)(水)(金)……………手術 隔週毎(木)……………リウマチ外来	
		岡村	今里		公文			
歯科口腔外科		高森	高森	高森	高森	高森	(月)午前……………手術 第1・3(木)午後……………手術	
		長井	長井	長井	長井	長井		
		酒井	酒井	酒井	酒井	酒井		
産婦人科		山内	手術	大塚	手術	村岡	(火)(木)……………手術 (月)(水)(金)……………特殊検査	
		寺尾(午前)		寺尾(午前)		寺尾(午前)		
		大塚(午後)		村岡(午後)		山内(午後)		
耳鼻咽喉科		直野	直野	手術	直野	直野	(水)……………手術 (月)(金)午後……………手術 (火)(木)……………特殊検査、外来手術 (月)午前……………難聴外来 (月)(火)(木)午後……………補聴器外来	
		何	何		何	何		
小児科		中村	柳邊	中村	中村	緒方	(月)午後……………予防接種(指定患者のみ) (火)(水)午後……………慢性疾患 (木)午後……………乳児検診 フォローアップ外来	
		山元	緒方	緒方	吉田	緒方		
			吉田	山元	山元	吉田		
脳神経センター	脳神経外科	戸高	手術	西川(重)	手術	戸高	(火)(木)……………手術 (月)(水)午後……………血管造影	
		森川				西川(重)		
皮膚科		井上(知)	手術	井上(知)	手術	井上(知)	(火)(木)……………手術 (月)(水)(金)午後……………外来手術 特殊処置 (火)午前……………予約患者のみ	
		西川(陽)		葉山		西川(陽)		
泌尿器科		山下	山下	手術	山下	手術	(水)(金)……………手術 (月)(火)(木)午前……………尿路結石外来 (月)(火)(木)午後……………特殊検査・処置	
		井上(正)	井上(正)		井上(正)			

※入院中の患者さんの他科受診は、緊急でない場合は手術日以外でお願いします。

※緊急以外の受付は、午前11時00分までです。

※精神科・神経内科・眼科は現在休診となっております。

病棟

	西病棟	東病棟
7階		消化器センター、外科
6階	整形外科、皮膚科	内科、呼吸器外科 耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
5階	心臓血管センター 内科、人工透析室	内科
4階	女性病棟(産婦人科、内科)	小児病棟、周産期センター
3階	救急病棟、ICU・CCU、HCU	脳神経センター、泌尿器科

☆☆☆ 院内セキュリティ強化と面会時間の厳守について ☆☆☆

(お知らせとお願い)

不審者等による院内への侵入を防止するため、夜間(午後6時から翌朝7時45分まで)や土日祝日(年末年始を含む終日)においては、院内への入口を南側救命救急センター横の夜間・時間外入口(警備員室前)1箇所のみとさせていただきます。

また、ご来院される皆様には、面会時間を厳守し、来院者受付簿に必ず記帳いただくよう併せてお願い申し上げます。



広報委員会からの
お知らせ

広報誌へのご意見・お問い合わせにつきましては院内のご意見箱、FAX0982-32-6759 または <http://nobeoka-kenbyo.jp> まで!